



(NO382)

特別養護老人ホーム  
筑波キングス・ガーデン  
0297(24)5139



中島文子様の紹介

浅川恵子様(長女)

文子さんの故里は香川県三豊市の自然豊かな山の中。六人兄弟の末っ子で兄さん姉さん達にはとてもかわいがられたそうです。洋裁学校に通ったので洋服を作ったり、機械編みでワンピースを作ったり刺繍をやったりと手芸が得意でした。

成人してからは東京池袋の洋菓子店でケーキの販売をしていました。そこで出逢った武俊さんと結婚し二人の娘を育てあげました。昔からおしゃべりが大好きで近所のお友達の家に行きお茶飲みをするのが日課でした。

昨年の大雨の水害で川越キングスガーデンから筑波キングスガーデンに移る事になり、嬉しくて涙が出たのを覚えています。

先日、「文ちゃん、キングスガーデン楽しい？」と聞くと、少し微笑みながら「楽しい」と答えてくれました。この笑顔も職員の皆様達のおかげと日々感謝しています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

私に、あなたの仰せの道を踏み行かせて下さい。  
私は、その道を喜んでいきますから。

詩編119編35節

## お花見

ヘルパー 渡辺みどり

三月の下旬、晴天の日に施設の周りに咲いている桜を見に出掛けました。桜の花を見て、ご利用者はとても喜ばれておられ「綺麗だね」「春だね。」と、素敵な笑顔をたくさん見ることができました。満開の桜に、ご利用者の表情も和らぎ、心安らぐひと時でした。

今年も皆様とお花見できたことに感謝します。



みんなでハイポーズ！



綺麗だな～

【五月】

十二日

十四日

※感染症対策の為右記以外の行事・ボランティアは中止しております。

【六月】

※現在、未定となっております。

決まり次第、ホームページに掲載いたします。

## 五月の誕生者

高尾竹彦様	昭和十四年	五月一日	八十一歳
佐々木好子様	昭和五年	五月四日	九十歳
岡野かの様	大正十五年	五月五日	九十四歳
石塚昭子様	昭和二年	五月七日	九十三歳
小口文子様	大正十五年	五月二十三日	九十四歳
草野さだ子様	昭和十九年	五月二十七日	七十六歳
磯譽志夫様	昭和十年	五月二十八日	八十五歳

お誕生日おめでとうございます。

ご利用者さんの笑顔に支えられて

理事長兼総合施設長 宇都宮和子

五月に入り、緑の美しい季節、ほとんどの方はステイホーム、その中であって福祉の現場で働くスタッフは自分の健康に気を付けながらの仕事です。緊急時に備え、暫く緊張の日々ですが、スタッフ一同、心ひとつにして取り組んでいる姿に本当に感謝です。不思議と特養のご利用者さんは落ち着いており心強いです。今日は子供の日、朝の折りの時にご利用者さんにアナウンスすると「今日は孫が来ないよね」と言う。本当に返す言葉がありません。それでもスタッフはご利用者さんの笑顔に支えられます。外に目をやると周囲の田んぼにも水が張られ、田植えが始まりました。キングス・ガーデンは自然に恵まれ、高齢者も障がい者、子供たちも共に生活する良い場所を神様が与えてくださいました。目に見えないコロナウイルスとの戦いはもう少し続きますが、手洗い、うがい、換気、消毒等、職員間の接触にも気を付けながらの生活支援です。五月も面会出来ませんが、もう少ししの辛抱と思いますのでご協力宜しくお願い致します。

## 四月のボランティア

感染症対策のため四月のボランティアは中止しております。

いつも尊い働きありがとうございます。

入居されているお年寄りから教わる事は多い。言葉は発しなくても、認知症があっても、その人の存在そのものは変わらず、ケアをしている私たちのほうが、力を頂いていると感じる事が多い。

食事を介助する時などは、私たちが運ぶお匙の一回一回を、お年寄りの表情や間に、合わせながら行っていると、おしいと仰るかのように、ほほえみを返して下さる方もいます。私たちの介助のやり方が、その方にとって、優しいものなのかどうか、試される場面な訳ですが、お年寄りは受け止めてくださっています。

世界が、大きな緊張と強張り解けない毎日を送る中で、目の前にいる入居者の方々の落ち着いた様子を見る時に、支えている職員の気持ちにも感謝ですし、不満を漏らさない入居者の方々の忍耐にも助けられています。

窓越しに、ご家族が顔を見に来て下さる姿が増えました。私たちには見せない、ほころんだ笑顔や涙に、やつぱり、お年寄りの方々が雰囲気を感じ、共に耐えているんだと思いました。私たちに向けてくださっている入居者の方々のほほえみは、本物です。

ほほえみの質



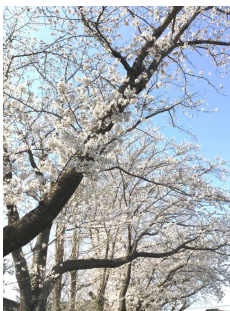
施設長 小川内秀樹



窓越しでの面会

## お花見写真館

KG敷地内の桜



みんなで記念撮影



ハイチーズ



### 【編集後記】

風薫る爽やかな季節になりました。体調に気を付けて元気に過ごしましょう。

ほほえみ担当

高橋(浩)・古谷・藤井

### 虹の架け橋

古谷夏美

ご利用者様一人一人が毎日笑顔で過ごせるように支えて行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



### ショートステイ

軽邊麻美

未熟者ですが、一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



## 新職員紹介

相談員日誌

「当たり前前の幸せ」

野田望

新型コロナウイルスの影響が日に日に大きくなってきている。施設でも過去に例を見ない程の感染対策が行われている。そのような状態になると、これまでの毎日がとても恵まれていたことに気付く。そして、医療従事者や私達、介護職などのように直接、人に関わり命を守り、生活を支えるような、献身的な働きが尊く必要不可欠なのだと思える。

施設での面会も制限されているが、何名かの利用者の家族が、メッセージボードを持参し、窓越しに会いに来て下さった。まるで映画のワンシーンのようで感動した。当たり前の幸せが少し取り戻せたように感じた。

我が家では夕飯の時に家族が交代で感謝の祈りをする。娘が「今日も私達家族や皆を病气から守ってください感謝します。」と真剣に祈っていた。守りたい人々を思いながら私も共に祈った。